



うらそえ民児協だより

発行 浦添市民生委員児童委員連絡協議会 責任者 会長 新垣和歌子 編集 広報委員会
〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1丁目10番7号 (浦添市社会福祉センター内) TEL 877-8278 印刷 (有)潮印刷

5月12日は民生委員の日

浦添市は現在、八一名の民生委員・児童委員が厚生労働大臣・県知事から委嘱を受けて活動しています。五月十二日(木)は、全国民生委員児童委員連合会が定める「民生委員・児童委員の日」です。

また五月十二日からの一週間は「活動強化週間」とされ、国民の方々に民生委員・児童委員の存在やその活動について一層の理解促進を図る等のために、全国各地で様々な活動やイベントを行うこととしていきます。



浦添市民生委員児童委員連絡協議会は、市役所前の市民広場で、浦添市長をはじめ久員浦添市社協会長に激励の言葉、知事メッセージをいただき、出発式を実施しました。

浦添市長、民生委員・児童委員を激励(市長あいさつ)



浦添市長
松本 哲治

「民生委員・児童委員の日」活動強化週間の出発式にあたり、ごあいさつを申し上げます。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日ごろから地域を見守りながら、地域住民の抛り所として献身的な活動を実施してまいりますことに、心から感謝を申し上げます。

この3年間はコロナ禍のため、感染対策をはじめとしたさまざまな制約を受けながらの活動であったかと思いますが、厳しい状況にあっても、社会的孤立を防止し、地域住民の課題を解決するため、活動されていることに、改めて敬意を表します。

皆様におかれましては、地域住民の見守り役、相談役、専門機関へのつなぎ役として、日ごろから地域の方々に支えていただいておりますが、こうした皆様の活動には、関係機関や各種団体、そして何より、地域住民との連携が重要になってまいります。

本日から一週間は「活動強化週間」となりますが、民生委員・児童委員制度やその役割について、積極

的にPRしていただき、より多くの市民の理解が深まりますことを切に願っております。

本市はこれからも「やさしさにあふれた福祉のまち」を目指して、取り組んでまいりますので、民生委員・児童委員の皆さまには、引き続き本市の市政運営にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

令和五年五月十二日

出発式の後に、市内高齢者宅を訪問して活動を実施しました。



浦添市民生委員児童委員 連絡協議会の定期総会

令和五年四月二十五日、浦添市社会福祉センター三階大研修室において、市内民生委員・児童委員が一堂に会し、松本哲治浦添市長、比嘉克政市議会議長、當間正和教育長、久貝宮一市社協会長に出席いただき、「令和五年度定期総会」を開催しました。

令和四年度の活動実績報告書、決算報告書の説明・承認、令和五年度の活動計画書、予算書の説明・承認が行われました。



また、市連絡協議会の活動に位置づけられている福祉部会活動の中の「老人福祉部会」の名称を「高齢者福祉部会」に改める議案が承認されました。

事業計画の前文

民生委員・児童委員は地域福祉を推進する要としてその役割が大いに求められています。

本会では各関係機関、団体等との緊密な連携のもと、住民の立場に立った相談・支援活動を推進する民生委員児童委員が、地域を基盤とした福祉社会が築けるよう、浦添市民児協組織の充実を図り単位民児協を中心とした要援護者支援活動体制の整備と社協との共同体制の強化を推進します。

少子高齢化に向け地域においては、独居老人世帯・虐待・孤立・孤独（死）・引きこもり等、問題が山積しております。人々のつながりが希薄化し「無縁社会」という言葉が生まれ、ますます複雑多様化しています。

また、子どもの貧困家庭では全国でわが県はワーストワンに入っています。民生委員・児童委員憲章の理念を守り、核家族化の中で子育てに悩む家族を支援するため地域ぐるみの子育てをすすめる児童委員活動を推進します。

事業計画の重点目標

「信頼される民生委員・児童委員、活動する民児協」を目指し、組織力を生かして、社協及び行政の関係機関・団体等との連絡を密にしつつ、各地域の実情に対応した次の重点活動を推進します。

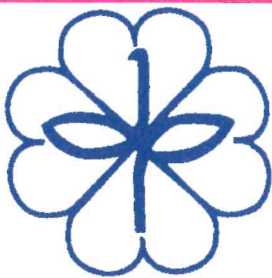
- 一 単位民児協の連携強化並びに各民生委員・児童委員の資質の向上を目指す事業の推進を図ります。
- (一)生活福祉資金貸付事業の推進
- (二)民生委員による相談事業の推進
- (三)地域福祉・在宅福祉のネットワークの推進
- (四)地域福祉活動計画、コミュニティソーシャルワーク事業への積極的参加の推進
- (五)福祉のまちづくりへの協力の推進
- (六)民生委員・児童委員の「日」活動強化の推進
- (七)独居老人の「孤独死予防」への取り組み
- (八)社協とCSWとの意見交換会
- (九)朝のあいさつ運動・不登校児童生徒への協力・夜間街頭「情報交換」
- (十)登下校時の見守り
- (十一)定数確保の取り組み強化推進
- (十二)自治会長役員との意見交換会
- (十三)自治会との連携
- (十四)市議会議員との意見交換会
- 二 各福祉部会・広報委員会の活動の強化を図ります。

三 主任児童委員と区域担当児童委員の連携を密にし、児童委員活動を推進します。

実施計画

- 一 民児協会務の運営と研修役員会及び総会等の開催
- 二 赤い羽根共同募金会奉仕活動
- 三 歳末助け合い奉仕活動

このほか、市民児協連絡協議会の月別活動計画書や各单位民児協、福祉部会、広報委員会の活動計画書、予算書案も承認されました。



一緒に活動する『民生委員・児童委員』を募集しています。
問い合わせは民児協事務局まで
098-877-8278

民生委員・児童委員の活動の一こまを紹介しします。

毎月12日は声かけ運動

「愛の声かけ運動」は地域の方で子どもたちを守ってほしいと二〇〇〇年から始まりました。

内間ローソン前の交差点付近では浦添市長をはじめ、浦添高校、神森中学校、内間小学校の児童生徒や地域の方々約一〇〇人が集い、「おはようございます」「いってらっしゃい」などの爽やかな朝の挨拶が飛び交いました。



『おはようございます♪浦添小学校と中学校で挨拶運動をした時のことです。』

二人の生徒さんが学校に登校しながら缶や塵など袋一杯拾って持って来たので校長先生に褒められています。偉いですね〜』

あいさつ運動の中で見つけた光景に、清々しい気持ちになりました。



愛の声かけ運動の様子

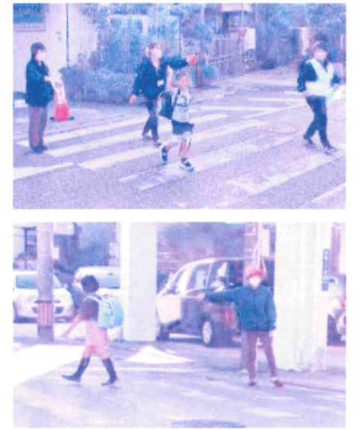


独居老人訪問

第2民児協においては、地域の方に御挨拶を兼ねてごみ袋を配布する活動を行っています。全戸配布を目指す、民生委員の顔を覚えてもらうことや、お困りごと相談等を行っています。



核家族が増えるなか、独居の方も多くなり、コロナ禍の影響が大きく、引きこもりがちの生活を送っている方も少なくありません。引きこもりからくる虚弱・老化等々身体に直結してしまう課題も浮き彫りになっています。



このよな背景をとらえ、私たち民生委員が何かできないか、地域と独居の方を繋げるにはどうしたらよいかを日々考えて活動をしています。

CSW会議（行政区）コミュニティづくり推進委員会に参加

公民館等の地域の公共スペースを拠点に、地域で支援が必要な方々の見守りや支援ネットワークづくり、地域情報・課題共有や解決に向けた取り組み等を2ヶ月ごとに41の行政区で会議が行われています。

会議の主な内容は、①災害時等要援護者と独居老人等の地図落とし込み、②地域の支援や協力可能者の地図落とし込み（各行政区でリスト化、保管）、③地域づくりの取り組み、行事予定についてです。



地域活動を応援する民生委員

こいのぼり掲揚式

二〇二三年五月一日、三年ぶりに内間自治会主催によるこいのぼり掲揚式が開催されました。

公園と安謝川沿いにこいのぼりが掲揚された会場の内間西公園は沖縄県の「花と緑の名所一〇〇選」にも選ばれた緑豊かな公園です。こいのぼりは市内の保育園や地域の方々、市内の子どもたちを中心に手づくりで一五〇〇匹作成されました。

掲揚式は、市内十四ヶ所の保育園児や地域の方々に参加し、園児の「こいのぼり」の歌やお遊戯を披露し、西公園は子どもたちのパワーでキラキラしていました。

五月三日から同会場で行われた第十八回内間手作りこいのぼり祭りには、子どもたちによる浦添市指定文化財民族芸能「内間獅子舞・棒」やエイサー、地域の方々による歌や踊りが披露され、多くの人で賑わいました。



苗のリレープロジェクト

陽明高等学校・陽明高等支援学校「苗のリレープロジェクト」とは、陽明高等支援学校園芸班の生徒が両校の卒業式や入学式に向けて育てた花の苗を式典後、地域にリレーする活動です。

三月にはピオラの苗三百鉢を（一社）みやキッズ宮城学童クラブと美らまちサポーターOhana Clubの二団体に、四月にはベゴニアの苗九百鉢をその二団体に加え、宮城自治会、福ふくファーム、仲間ゆんたく会の三団体にもリレーしました。また、花壇用プラカードも陽明高等支援学校ものづくり班の生徒に廃材を利用して製作してもらいました。

この活動を通して両校と地域が繋がり、相互理解を深めることを目指しています。そして生徒にはこれまでに以上に学校に誇りを、地域に愛着を持てることを願い、また地域のみなさんには陽明高等学校・陽明高等支援学校の応援団になってほしいと願っています。



城間公民館で子ども食堂



去る四月十三日から、第二、第四木曜日の午後四時～六時まで城間公民館で年齢層や地域の制限なくすぐま子ども食堂が開催されています。一回に約四十人以上の方々を訪れて、食事を通して地域の交流が行われています。

回数を増すことに、ボランティアの方々も増え、協賛してくれる企業も出てきて、第四木曜日にはお弁当を提供するようになりました。顔を知らなくても、住み慣れた地域で安心して楽しく、誰かが傍らにいる生活が育んでいけるように、地域の方の支援により公民館から発信できることを楽しみにしています。



新任民生委員の紹介

第5 民児協 (当山担当)	第4 民児協 (牧港担当)	第3 民児協 (勢理客担当)	第1 民児協 (前田担当)
玉城洋介	西原小夜子	松本律子	友利弘一

編集後記

新年度に入り、朝のあいさつ運動で返ってくる子どもたちの元気な声に癒されます。

民生委員の活動は、市民の皆さんの生活を支えることです。

新任民生委員・児童委員の四人の仲間を迎え、なお一層、民生委員活動に励みたいと思います。

今年度もよろしくお願ひします。